

良子さんの ほっと一息ティータイム

暮らすことは表現すること Vol. 6

熊谷良子

熊本県小国町にある坂本善三美術館に行ってきました。

坂本善三は「グレーの画家」「東洋の寡黙」と評される抽象画家です。

善三の絵と築150年の古民家を移築した畳敷きの美術館を訪れることは、数年前にテレビで観て以来の願いでした。

小国町内の50歳以上の人たちが慣れ親しんでいる藁や布、木などを使って創作した作品の展示会「Over50(オーバーフィフティ)で楽しむ善三展」が開催中です。その案内チラシにあった「暮らすことは表現すること」という言葉に動かされて、「暮らすことは私のいまをしっかりと感じること」だと思い、車での遠出を思い立ったのです。

美術館は、樹齢700年の夫婦杉がそびえる銚納社を背景に建ち、「芸術は自然と一体となって、人間を健やかに導く」という美術館のコンセプト通りに、余所者をいとも優しく自然に包み込んでくれました。そこに立って、その風に触れてみることで、人物や出来事のバックグラウンドに近づけるような、まさに「暮らすことは表現すること」の一体感が生まれてきます。

2022.11.1

小国町 坂本善三美術館

